保護者・生徒・地域の皆さんへ

長野高等学校学校長だより「前へ」

（「学校長だより」はホームページにも掲載しています。）

令和８年
No. ６
10月23日
金曜日

○　スポーツの秋

９月30日、10月１日とクラスマッチがありました。３年生にとって、クラスで取組める高校最後の行事となりました。前の週までは、台風の影響で雨の予測でしたが、この水・木曜日に合わせて晴天となり、初日のソフトボール一面だけ遅く開始したものの後は予定通り全ての試合を実施することができました。本当に、今年の行事は、天候が味方してくれています。学校行事は、クラスメイトの別の顔を見る機会でもあります。楽しみ・助け合い・勝利を目指すスポーツの醍醐味を体験することができたのではないでしょうか。ちなみに、10月10日が「体育の日」(現在のスポーツの日)として制定された最大の理由は、1964年（昭和39年）の東京オリンピック開会式が10月10日に行われたことを記念したものです。 政府は1966年（昭和41年）にこの日を国民の祝日とし、その趣旨を**「スポーツに親しみ、健康な心身をつちかう日」**と定めました。また、10月10日が開会式の日に選ばれた背景には、当時この日が「晴れの特異日」と考えられており、統計的に晴天の可能性が高い日とされていたこともあります。その後、2000年～：ハッピーマンデー制度により10月第２月曜日へ移動。2020年～：「スポーツの日」に名称変更という変遷をたどりました。今年の10月10日は、晴れていたでしょうか？これからのクラスマッチも統計をとらなければいけませんね。






○　音楽会

10月20日、ホクト文化会館大ホールにて音楽会が開催されました。保護者の方も２階席がいっぱいになるほど、およそ600人の方に鑑賞していただきました。１・２年生の各クラスの合唱、合唱班の手話も交えた歌声、そして、写真のように音楽選択者、管弦楽班、吹奏楽班、有志教員による合唱付き第九の演奏。常に感動の連続で、素晴らしかったです。

私は、審査員を務めましたが、これ程、苦しい思いをしたのは、久々です。差が付けられませんでした。また写真も撮れませんでした。すみません。どのクラスも歌い込まれ感情が込められていました。良い演奏を聞かせてくれてありがとう。そして２年６組おめでとう。

この歌が、高校時代の友に出会い、久闊を叙し、高校時代の思い出として語られたら良いですね。私は、長野高校に赴任し、改めてこの学校・生徒の力を実感した日となりました。



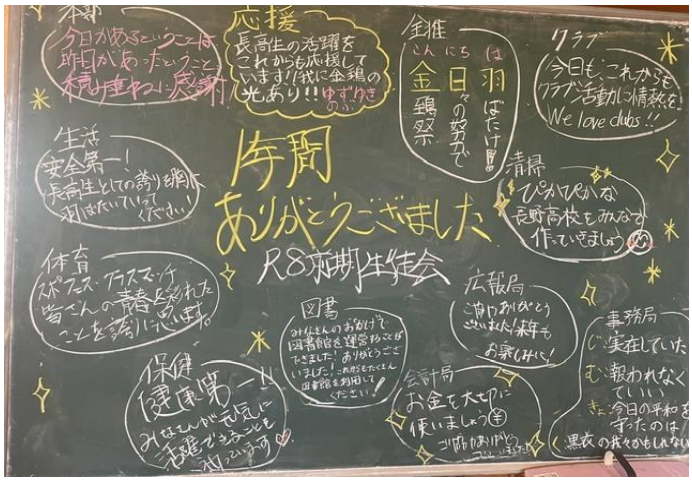
○　130 周年記念事業　環境整備Ⅱ

11 月２日、放課後大会議室にて、「長野高校の環境の再構築」のアドバイザーを務めていただいている有種家・造園家のＯＢ坂田さんをお招きして、環境事業の考え方、またＥＤＩＢＬＥガーデンの考え方等のご講演をいただく予定となっています。今後の長野高校の環境を考えるスタートアップとなる機会です。参加者は現在、生徒会新執行部＋「探究」活動で、環境、植物、食等の分野を考えている人＋有志と考えています。「有志」は、是非この学校を題材として、100 年後の長野高校のデザインを考えたいという人など、ドシドシ積極的な参加を求めます。自分の子どもや孫にこの学校の環境デザイは、自分が考えたものだと言ってみませんか。サスティナブルな思考での学びは今後の自分の人生にも役に立つはずです。是非多くの人が、この企画に加わってくれることを望みます。事前の申し込み等は不要です。当日 16:10 に大会議室に集まってください。また、その後 12 月 14 日に世界の台所探検家「岡根谷実里」さんを招いて、講演・ディスカッションも予定しています。本校卒業後東大工学部から転身した方です。現在は、オランダを拠点として、世界を巡り、食について探究を続けていらっしゃいます。詳細は、来月号で紹介します。






○　令和８年度　３年生生徒会



10 月６日、第４回生徒大会で、３年生執行部が退陣しました。本当にご苦労様でした。２人にインタビューしました。

◇三井 前生徒会長

行事を通して様々な人と関われる。全校で行事に向かうために４つの施策を展開した。充実した生活が送れた。

◇和田 前金鵄祭推進委員長

先輩たちの姿をみてきて、良い点・改善点も考え、様々な人に支えられ、信念を持ち目指す金鵄祭の実現が図れた。

◇２人の話で共通、興味深かったこと、「色々な意見があり難しかったが、その意見があるからこそ、面白さが生まれる。立ち止まってより良い方向へ考えることができた。感謝。後輩たちも仲間・環境を大切にして欲しい。楽しかった。やって良かった。」

○　朋へ

校長通信での原稿として、相応しくないと承知しているが、彼が学校現場にいた証として書かせていただく。10 月 12 日、朋が癌で亡くなった。訃報を受けた時、時が止まった。同年でライバルで親友だった。お互い無駄なことは言わなかったし、そんなに頻繁に連絡を取り合っていたわけではない。が尊敬していた。２人でよく飲みに行った。楽しかった。心底何の気兼ねも、気遣いも要らなくて本音が語れた。彼の具合が悪くなった時「ゆっくり休めよ。」と言ったら、「働きたいのだ。」と言った。有能で今後の活躍も期待されていた彼は、動けない状態が歯痒かったのだと思う。そして、最後まで闘ったに違いない。本当に頑張ったな。ゆっくり休めよとだけ言いたい。お前の分も頑張るよ。